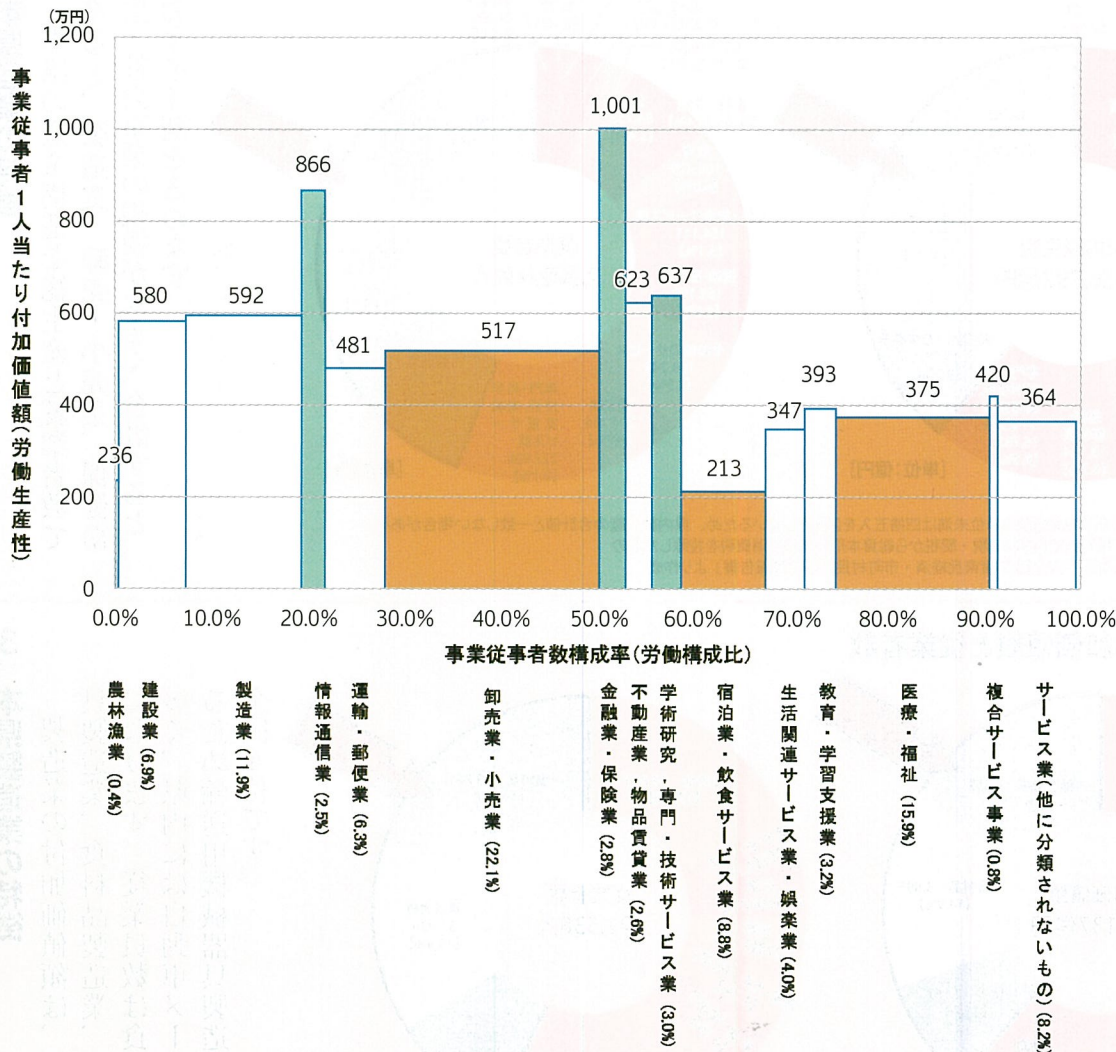


## 5. 本県産業の労働生産性

労働生産性は「金融業・保険業」が最も高く、「情報通信業」「学术研究・専門・技術サービス業」の順ですが、雇用構成では低く、高い業種「卸売業・小売業」「宿泊業・飲食サービス業」「医療・福祉」の生産性は相対的に低くなっています。少子高齢化進展の中で本県経済維持発展のためには労働生産性の向上が求められます。

### ①産業別労働生産性と労働構成比



出所:総務省統計局「平成28年経済センサス-活動調査」より作成

## 福岡県の進む道

これからの北九州市はどうすれば発展できるのか。この問いに応えるため、学术研究都市・北九州空港・国際港湾・環境産業など様々な努力を重ねましたが、いまだ道半ばにあります。これらを土台に、今後の課題として

- ① 福岡県・福岡市・北九州市が協力して400万人都市圏を活性化。九州1330万人のアジア窓口とする。  
\*域内活性化。  
\*福岡市の金融センター構想を支援。  
\*福岡・北九州空港の協力。  
\*第二関門橋。  
\*九州アイランド。
- ② 北九州の持つ製造業のIT化を強力に推進。生産性向上をめざす企業努力に期待。
- ③ 東シナ海経済圏の構築。
- ④ 安心な貿易環境の整備。  
\*安全保障にかなうサプライチェーンの構築。  
\*日米安保の堅持、台湾との連携。  
\*自由と繁栄の弧につながる九州の方向性を模索。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症の克服。  
これらのことが自由で活発な経済活動環境のための必要条件であると考えます。

### 編集後記

今年にはコロナウイルスに、翻弄された一年でした。ご健康に留意されて、良い一年をお迎え下さい。  
江頭 保浩